

MIE UNIVERSITY X

三重大学広報誌

三重大 X

[えっくす]

CONTENTS

ホットNEWS

三重大学医学部附属病院 —新病棟・診療棟—

特集

新

05

速報

文部科学省等支援プログラム

11

プロジェクト

ハイスループットタンパク質生産システムの開発

12

特集

学ぶ・育むプログラム「X」

13

気になるNEWS

15

スポット／クラブ・サークル

17

本の紹介

19

表彰

20

お知らせ

22

歴史街道シリーズ

26



vol. **27** 2012
WINTER

ホットNEWS 三重大学医学部附属病院 新病棟・診療棟

新病棟・診療棟では私達職員一同力を合わせ、高度で安全な医療の遂行、若手人材の育成、先進的な臨床研究の推進、さらには地域医療の発展のために誠心誠意頑張ります。



三重大学医学部附属病院長 竹田 寛 教授 Takeda, Kan

3F

手術室は中央材料部、病理部、輸血部など関連する部門と隣接させて十分に連携のとれる配置としました。

手術室

術野カメラ

手洗い場

スタッフステーション

患者さんとスタッフのコミュニケーションがとりやすい、カウンターで囲まれた、開放的なつくりとしました。病棟中央部分に位置し、各病室との距離も縮まります。

書類だけでなく、検体などもこのカプセルに入れてすばやく搬送することができますよ

エアシューター

病棟内で学生への教育や研修ができるコーナーも設けました。

2F

MRI

病院全体としてのMRI検査装置が増え、検査待ち時間が短縮されました。

ICU (集中治療室)

ICUは1床あたり幅4.5mとし、ベッド廻りに十分なスペースを確保しています。

1F

救急部門 (蘇生室)

手術室に準じる設備を備えた蘇生室で高度な救急医療に対応しています。

救急部門 (エレベーター)

救急ホールにICU (集中治療室)・手術室へ直結するエレベーターを設け、救急患者の移動距離を短縮しています。

厨房

エレベーターは配膳と下膳で扉の方向を逆にして、一筆書きで逆戻りのないスムーズな動線としています。

薬剤部門

注射薬払出装置 調剤スペースを中心に無菌製剤室等諸室を周辺に配置しています。

展望レストランからこの景色を一望できるよ

展望レストラン

四喜折々 (しきおりおり) 営業時間:8:00~21:00

レストランはフリースペースとして、外来患者さんやお見舞いに来られた方、職員やその他一般の方などなたでもご利用いただけます。和食から本格中華料理までメニュー豊富に取り揃えています。病院の管理栄養士とコラボした「ヘルシーメニュー」もありますので、是非一度ご賞味ください。

食堂ダイニング

パントリー

病棟各階にあり、大学キャンパスと伊勢湾を望むことができます。

病室は西側、東側両方に1床室と4床室を配置し、病室の広さを十分に確保した療養環境を提供しています。

4床室

特別室A

6床室中心だった病室を、4床室中心にし、ゆったりとした療養環境を整えました。

病棟部分の最上階に位置し、ゆとりのある間取りと、落ち着いた調度で、上質の療養空間としました。

1床室

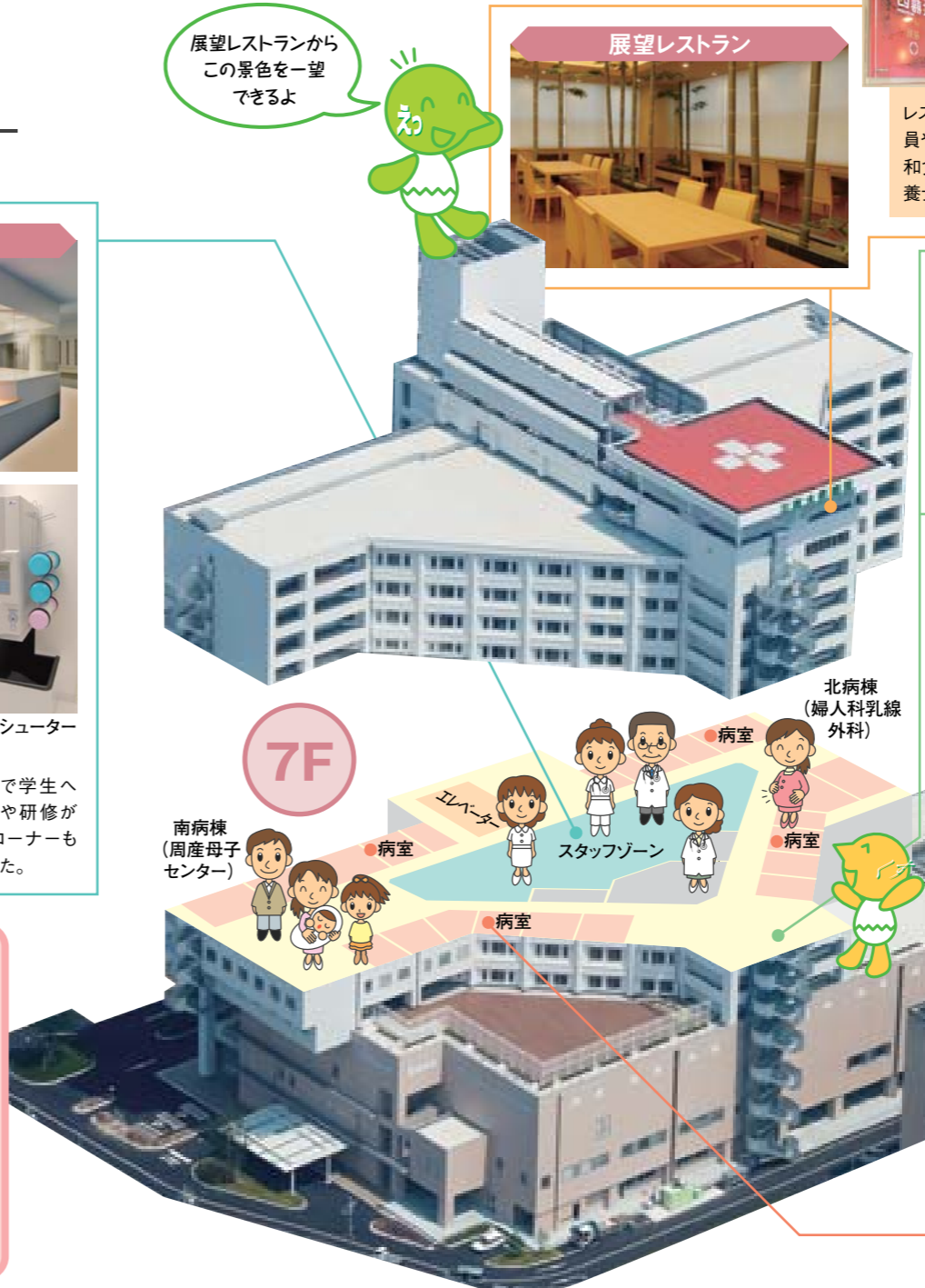
個室を希望される患者さんの要望に対応できるように個室率を約30%に増やしました。個室内にはトイレ、シャワー設備もあります。

レンジ

テレビ

トイレ

シャワー



病院再開発 担当の副院長に聞きました!



何が変わったの?

病棟が新しくなったことで、キレイになったのはもちろんのこと、高度先端医療の推進、県内の救急医療の充実、周産期医療体制の強化、医療人の教育養成、患者アメニティーの向上など、以前より多くの社会的要望に応えることができました。平成26年には、外来・診療棟も新しくなる予定です。

先生が苦労したところは?

旧病棟から新病棟へ、患者さんに負担をかけず、いかにスムーズに移転できるかが課題で、移動させるルートや時間を詳細に決定しました。無事、問題なく患者さんが移転できてよかったです。他にも、新病院での運営が円滑にいくように各部署との話し合いも大切な業務でした。また、2期外来棟の設計事務所の決定、各部署との面積協議、これらを決定するには様々なところと交渉し、非常に多くの時間を費やしました。

三重大学大学院医学系研究科 PROFILE 新保 秀人 教授 Shimpo, Hideto プロフィール

愛知県生まれ。昭和54年三重大学医学部卒業。同大学大学院医学系研究科博士修了後、同大学医学部助手、講師、ハーバード大学留学、助教授を経て現在に至る。専門は胸部心臓血管外科、特に先天性心疾患の外科治療。

いつ建て直そうと思ったの?

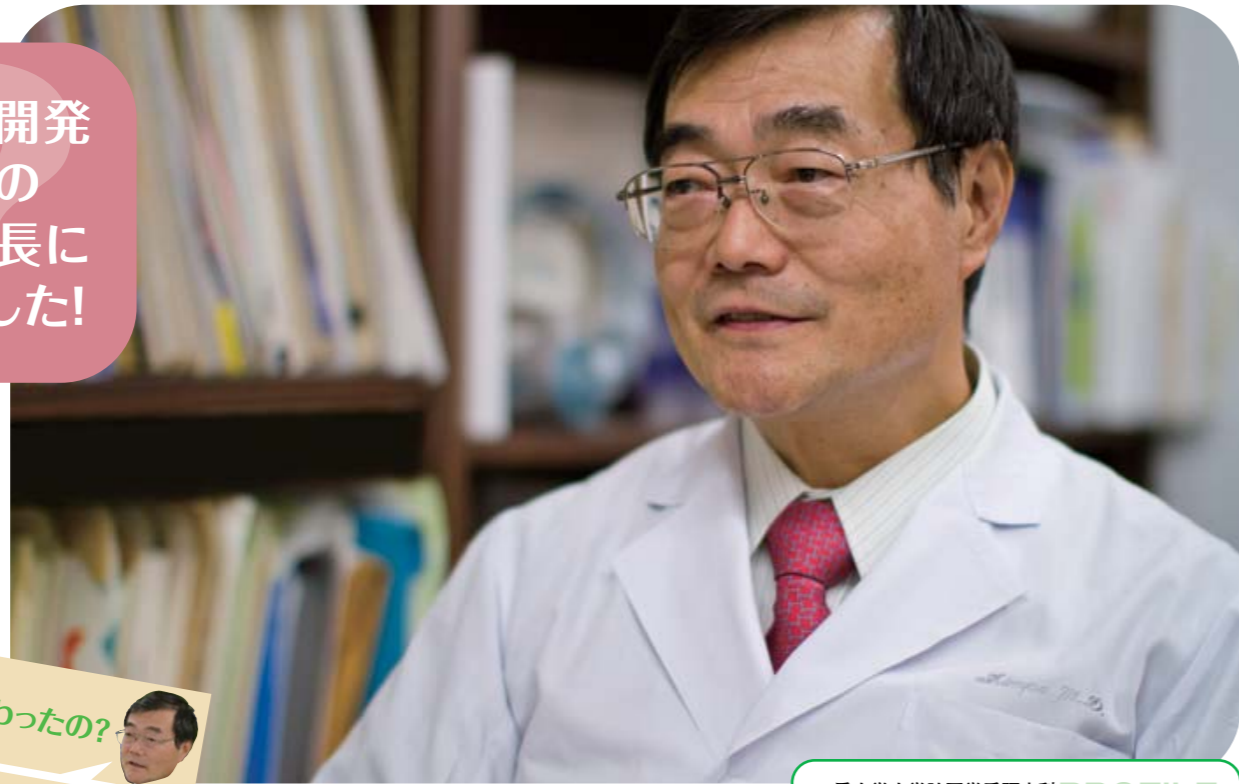
計画を検討し始めたのは、11年前の2001年です。そして、2007年の12月から新病棟の工事に着工しました。

いくら掛かったの?

新病棟部分はざっくり約160億円!!



計画当初に作られた模型

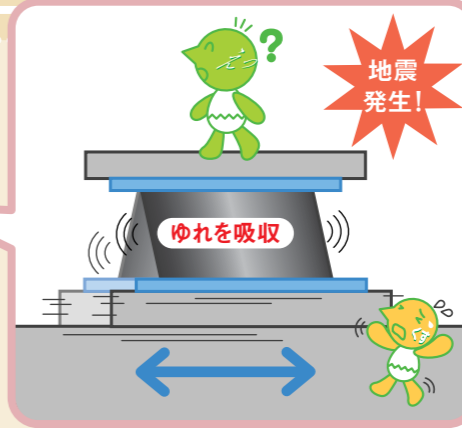


新病棟の安心ポイントはどこ?

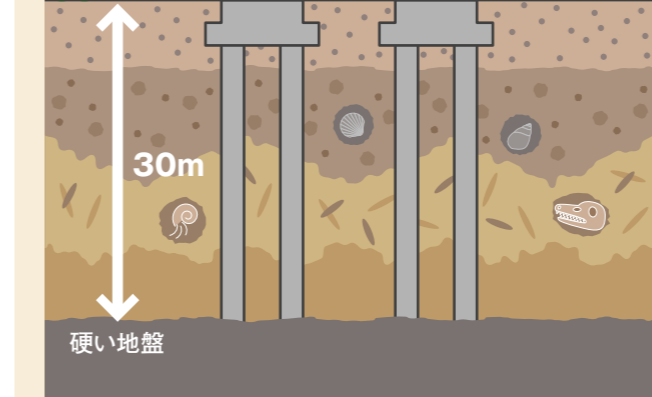
この病棟が大規模地震にも耐えられる免震構造であるということです。87本の杭を地下30mの深さまで打ち込み安定した地盤で新病棟を支えているので、液状化による建物の影響はありません。また、非常用電源も新しいエネルギーセンターに整備されており、燃料タンクが満タンの状態であれば72時間、非常用コンセントに電気を供給できます。以上のことから、多くの方が心配されている東海・東南海・南海連動型地震にも耐えてくれるでしょう。



地下の87本の杭と新病棟の間には鉛入りの天然積層ゴムの免震装置があり、地震の揺れを吸収し建物への影響を低減させる仕組みになっている。



こんなに長い杭が87本もあれば安心だね



ヘリポートができたけど、ヘリコプターはあるの?

平成24年2月1日から伊勢赤十字病院と共用でドクターヘリの運用を開始します。どちらかの病院にドクターヘリが待機している状態で、緊急時にすぐ現場に飛んで駆けつけることができます。



食事は今まで通り?

食についても改善しました。今までは各部屋を回って配膳をしていたので、患者さんのところにご飯が来たときは冷めてしまっている場合があります。しかし今回、新病棟の各フロアに食堂デイルームをつくり、ご飯もその隣のパントリーで配膳するので、あたたかいご飯を食べることができます。



スタッフの反応は?

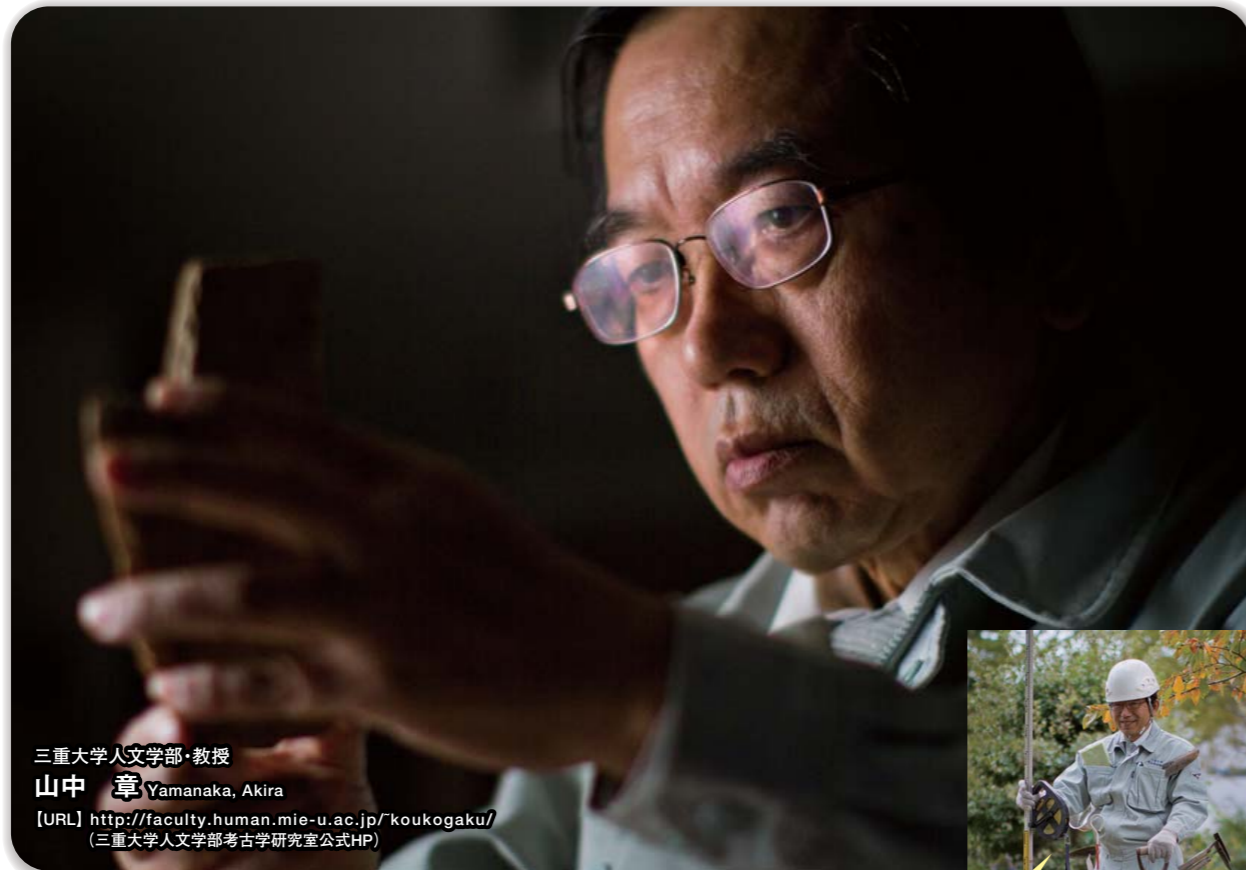
多くのスタッフは真新しい病院で働くことに心を弾ませていることと思います。皆さんの顔がいつになく輝いているように見えるんです。新病棟というフレッシュな空間を得て、安全な医療のためにスタッフ全員の絆がより一層強くなった気がします。スタッフのアメニティーも改善され、働きやすくなったのではないのでしょうか。

なんで病棟は三角形構造なの?

病棟の三角形の真ん中の部分は病院スタッフのスペースとなっていて、病院スタッフが患者さんを見守りやすい構造なんです。

新保先生、どうもありがとうございました。





三重大学人文学部・教授
山中 章 Yamanaka, Akira
[URL] <http://faculty.human.mie-u.ac.jp/koukogaku/>
(三重大学人文学部考古学研究室公式HP)



あなたはどっち?



今 トイレtpーパー ← 昔 木簡

故きを掘って、
新しきを考えてみよう!!

常識って何だろう?

日本人の得意技!箸使い。ところが遺跡を掘っても箸が出ない!奈良時代になると都で発見される。手食だったのか?!毎朝籠もるトイレ。ドアを閉め、鍵をかけ完全密閉。ところが奈良の都のど真ん中、役所のトイレに囲いが無い!エッお尻丸出し?その上お尻は木で拭いて痛!!洋の東西を問わず昔は世界中トイレはオープン!!これが常識。

当たり前と思っていること、それほど深い歴史があるとは限らないらしい。

考古学者は名探偵コナン??

古い物は壊れ、朽ち果てる。家は柱を立てた穴の跡だけ。どうして屋根の形が判るの?三重大学校内を掘ると液状化現象が確認できる。500年前の大地震だと推察される。地盤が2mも下がり、津波が襲った。鈴鹿関跡*1からは、棒で突き固めた土の高まりが発見された。1300年前の城壁の跡だという。戦争に備えた城壁らしい。

巨大な遺跡であっても、その発掘作業はとてつもなく緻密だ。小さなスコップで、時には爪楊枝まで使って発掘調査は行われる。そうして発見された小さな粉々の土器を一つ一つ手作業で復元していく。根気の要るアナログ作業だ。

最近では、遺跡を最新の測量機器で測り、土砂は光学顕微鏡で観察し、花粉や寄生虫卵まで分析する。錆びた鉄にレントゲンを当て、漆に赤外線を当てる。人骨が発見されればDNA鑑定までする。遺跡の種類や時代、土砂の起源、排泄者の病気や食生活、遺体の家系、埋もれた文字を読み解くためだ。わずかに残されたヒントから当時の様子を推理する。そんな考古学者の姿は、さながら名探偵のようである。

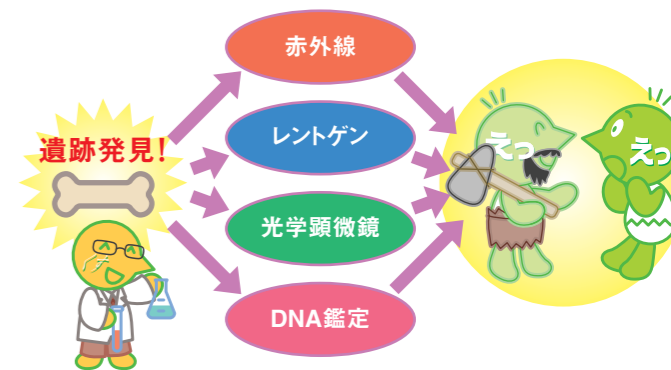


細かな発掘作業が命!

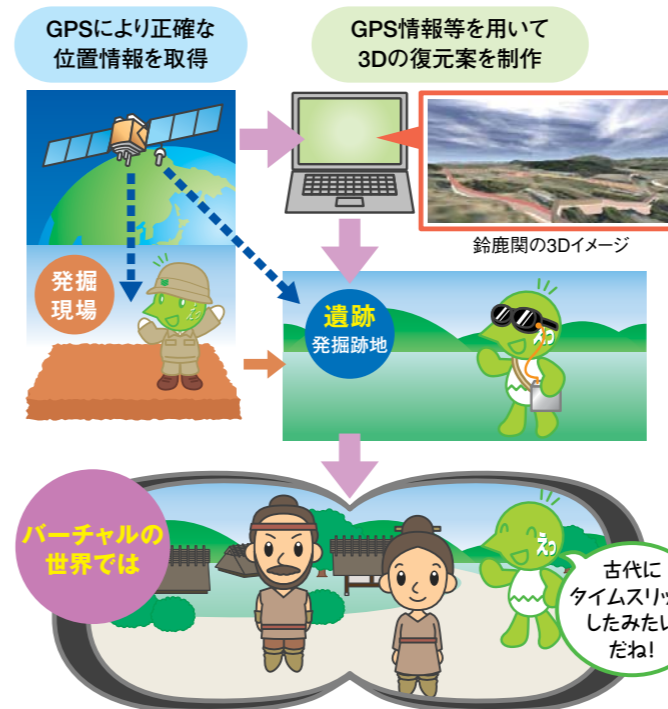


小さな破片から復元された土器

最新技術で、ご先祖様に対面!



未来のバーチャルミュージアム?



カーナビ技術でヴァーチャルリアリティー*2

さて、こうして復元された古代の生活、学者が書いた複雑な論文をひもといたり、跡地に残された立て看板を読んで、頭の中で想像するには限界があるだろう。もう一工夫が必要だ。どうする?そこで活躍するのがヴァーチャルリアリティー。コンピューターで復元案を制作し、カーナビでも使われるGPSと繋ぐことで、遺跡のその場所で復元された3D画像が、パソコン上に映し出されるようにした。様々な角度から往時の遺跡を眺望することを可能にした。(左図参照)

夏に調査に訪れたレバノンのローマ都市テイルでは、GPSで2000点もの位置を測り、映画『ベン・ハー』にも登場する戦車競技場の設計プランを解明した。バーチャルの世界でトコトコと階段に登って、戦車競技の様子をうかがうこともできるのである。

あなたは、どの時代にタイムスリップしたいですか?

*1: 旧東海道の関所。現在、三重県亀山市関町において発掘調査中
*2: 仮想現実



三重大学大学院生物資源学研究所・教授
幹渉 Miki, Wataru
[URL] <http://mandk.biz/miki/>

元アスリートの 大学教授です

スポーツが大好きで、学生時代はずっと競泳をやっていました。今でも10数キロのウォーキングを欠かさず続けています。東京大学大学院博士課程修了後は、サントリー株式会社で20年以上にわたって酒類・飲料・サプリメント等の基礎研究に携わってきました。2007年からは世界を目指す若手アスリートに対して、サプリメントの調製・選択や栄養管理を通してカウンセリングを行なっています。

このような経験から、安心・安全な自然由来の健康成分を探索できないかと考え始めました。そこで、様々な可能性を秘めた海洋生物に着目しました。

1970年代に
海洋生物研究のため
スキューバダイビングの
インストラクター資格を
取得しました!

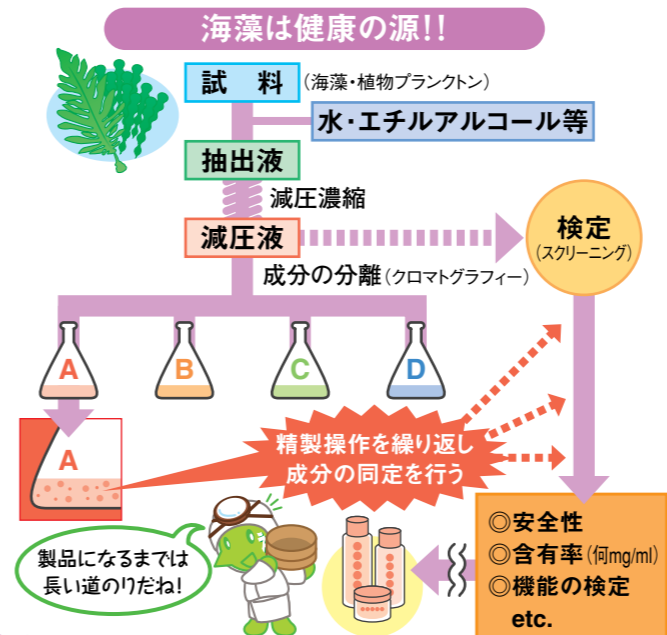
ミクロネシアで
経験を積んだ
だよ!

海藻や植物プランクトンは宝の山!?

海には様々な生物が生息しています。特に三重県の海は海苔の一大産地です。地元の漁業者の海産物に対する意識も高く、全国の国立大学でも海洋資源に関する研究室が多い本学にとって産学連携^{※1}を行うには最高の環境にあります。

海洋生物研究の進め方は、「①生物そのものを研究する。」「②生物の持っている成分を研究する。」の2つに分けることができます。我々の研究室(海洋生物化学研究室)では、海の生物、特に海藻類や植物プランクトンがつくる成分の中で、ヒトのためになる有用なものを探す研究を行っています。

※1: 大学と企業が共同で、社会に還元する技術・製品などを生み出すこと。



健康人を美しい超健康人に!?

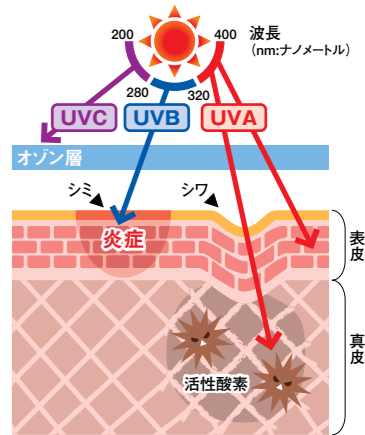
薬学部の研究室では主にヒトの病気を治す薬の研究をしています。我々の研究ターゲットは「健康人」。薬ではなく、病気を予防する働きのある食品などの素材、よりスポーツを楽しめるようなサプリメント素材、より美しく健康になるための化粧品素材などを探索しています。具体的には、アンチエイジング、メタボ予防、疲労蓄積予防、持久力や瞬発力向上、美白、抗紫外線、小ジワ予防と修復、毛髪の痛み予防・修復などがテーマです。

快適な紫外線対策

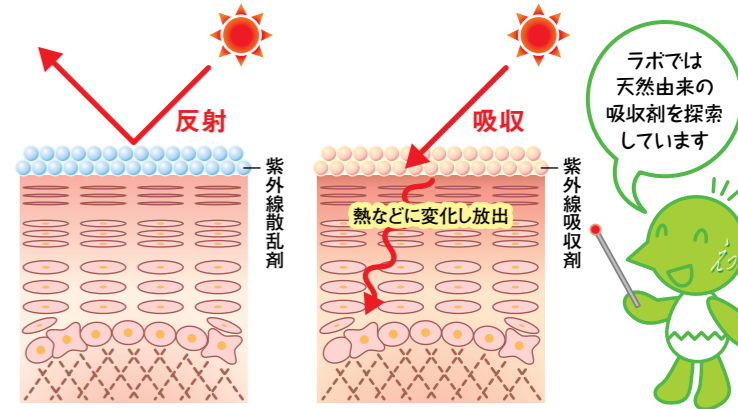
例えば、紫外線。近年、オゾン層が破壊され、地球温暖化が問題になっていますね。地上に届く紫外線量も増加し、その結果、皮膚のシミや炎症の原因となったり、毛髪を痛めたり、過剰な活性酸素を発生させて様々な疾病の原因となったりするUVA^{※2}やUVB^{※2}の量も増加しています。もっとも、紫外線は悪さをするだけではありません。紫外線がビタミンDを活性し、カルシウムの吸収を促進するという重要な役割も果たします。我々は紫外線と上手にお付き合いをする必要性がある訳です。

紫外線対策として、紫外線を散乱する方法と吸収する方法が考えられます。市販されているSPF^{※4}の値が高い日焼け止め商品は、紫外線散乱剤が多く使われていますが、これらは亜鉛やアルミニウムなどの金属を含むため、どうしても皮膚に負担がかかりがちです。一方、紫外線吸収剤は化学薬品が多く、安全・安心というわけにはいきません。我々の研究室では、藻類に含まれる身体と環境に優しい紫外線吸収成分を探索しています。目指すはヒトの「美と健康」です!

紫外線の種類と影響



紫外線散乱剤と吸収剤



※2: 肌の奥まで届き、肌を黒くしたり、シミやシワの原因となる。
※3: 肌表面の細胞を傷つけ、肌を赤くしたり、皮膚ガンやシミの原因となる。
※4: 紫外線防御指数。UVBの防止効果を表す指標。



三重大学大学院工学研究科・教授
近藤 利夫 Kondo, Toshio
[URL] <http://www.arch.info.mie-u.ac.jp/>

映像の高精細化を支える圧縮技術

アナログテレビ放送が停止したのはついこの前。エコポイントのおかげか、薄型テレビが急速に普及し、ハイビジョンが当たり前になりました。ハイビジョン拡張の高精細テレビが発売される中、次世代の*スーパーハイビジョンの開発が着々と進んでいます。このような目覚ましい高精細化を支えている基盤技術の要とは何でしょうか？それは高精細の膨大な画像データをコンパクトに収めるための圧縮技術です。高精細化と共にその演算量が著しく増大するため、これまでも圧縮システムの小型化・経済化には大きな努力が払われてきました。

*ハイビジョンテレビの16倍の画素数

演算量がますます増大する“新映像圧縮規格”

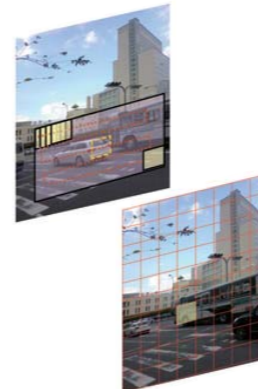
2012年の中ごろにはスーパーハイビジョンへの応用までを睨み、圧縮率を現行の高圧縮規格H.264の2倍までに高める新映像圧縮規格が策定されます。この新規格によるスーパーハイビジョンの圧縮を行うには、規格自体の複雑度が2倍以内に抑えられたとしても、超高精細ゆえに演算量が現行ハイビジョンの百倍以上にもなってしまいます。そこで、私の研究室では演算量の大半を占め実現上の最大のネックとなっている動き検出処理を高効率化する研究に取り組んでいます。

映像圧縮の要！動き検出

図1

全探索法

現在の画像と参照画像の間でブロック毎の移動量ベクトルを見つける処理を動きベクトル検出と呼ぶ。



膨大な照合演算を要する動き検出

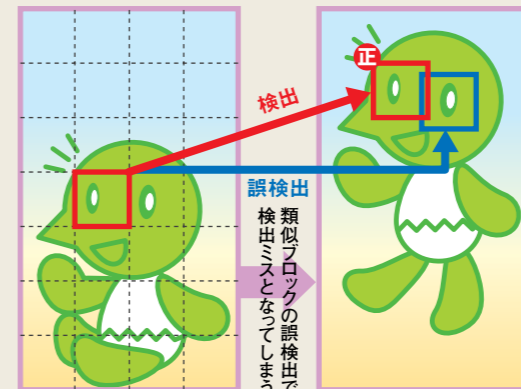
対象画像のブロックと最も似た場所を探すため、全探索法は正確な動きベクトルが見つけれられる。

図2

従来の動き検出方式

単独ブロック照合法

演算処理の負荷軽減のために、動き検出作業時のみ低解像度にした画像から、連続した2枚の画像を小さなたくさんブロックに分けて、1対1のブロックどうしを照合し、動きを検出。



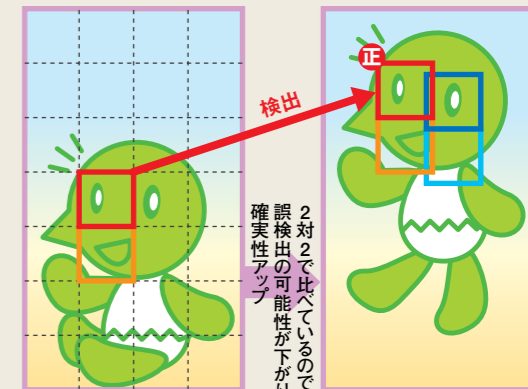
1対1から

1対1のブロックを比べる単独ブロック照合法では、低解像度のハッキリ・クッキリしていない画像同士の比較により、動き検出のミスが多くなってしまいます。

新たな動き検出方式

連結ブロック照合法

初めに下方向の隣接したブロックを連結して2対2で照合し、動きを検出。残りの3方向の連結ブロックの照合も併せて行い、最も一致する連結ブロックを検出結果とします。



2対2へ

複数のブロックを比べるブロック連結照合法なら、ハッキリ・クッキリしていない画像同士の比較でも、動き検出の精度・確実性が上がる。

2対2でしっかり照合しているため、青で囲った部分は誤検出にはなりません。

ブロック連結照合法で映像圧縮の要“動き検出”を高効率化

「動き検出」とはなんですか？それは、映像の中の画像を基盤の目状に区切り、その区画（ブロック）ごとに、移動元のブロックを別の画像の中にある多数の候補から見つけ出す探索処理（図1）のことです。膨大な回数のブロック間照合を要するため、照合処理をいかに効率よく行うかが小型化・経済化の鍵となります。これに対し、我々は、ほぼ限界に達している従来技術のブロック単独の照合に見切りをつけ、隣接ブロックとつなげて構成する連結ブロックを用いる新たな照合法（図2）を追究しています。

次世代映像圧縮システムの早期の実現に向けて

高効率の動き検出法を開発するだけでは圧縮システムは実現されません。そのシステムをハードウェアで実現するには専用のLSIが、ソフトウェアで実現するためにはプロセッサの高性能化がそれぞれ不可欠です。そこで、論理・レイアウト設計からチップの試作までを行うことで、専用LSI向け連結ブロック一括照合演算器、プロセッサ向け高並列SIMD型照合演算器、低消費電力ベーシックプロセッサ等の構成法の研究に皆で取り組んでいます。

今後は、これらの研究成果に基づいてブロック連結照合法の実用機への導入の働きかけも行い、スーパーハイビジョンの普及に向けた小型・経済的な次世代映像圧縮システムの早期の実現に貢献していきます。



低電力ベーシックプロセッサ

文部科学省等支援プログラム

独立行政法人 科学技術振興機構

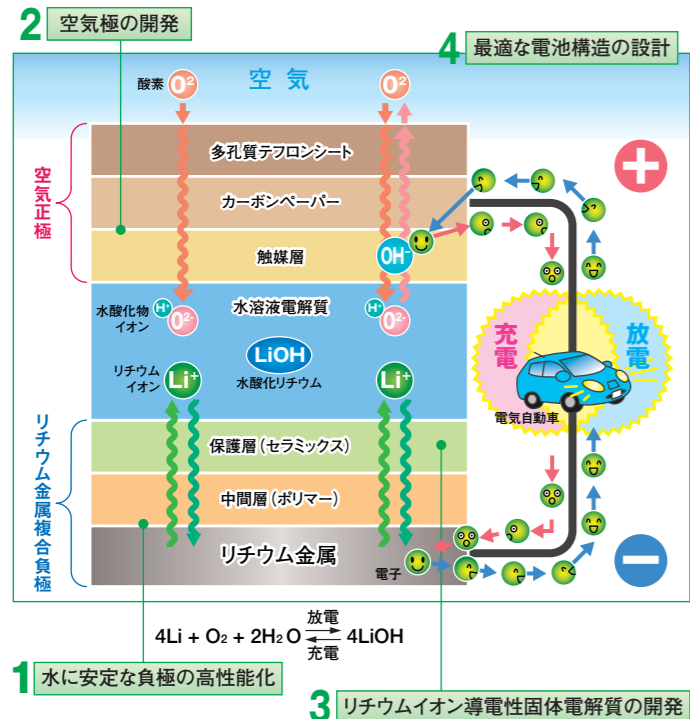
平成22～27年度

先端的低炭素化技術開発(ALCA)

「革新的高エネルギー蓄電システムの開発」

環境問題やエネルギー問題は世界的な課題であり、中でも二酸化炭素等の温室効果ガスの排出量が少ない低炭素化社会の実現に向けた技術開発が強く求められています。一つの方策として電気自動車の普及があるが、これには優れた蓄電池の開発が必要不可欠です。本研究では既存の概念にとらわれない革新的な高エネルギー密度蓄電システムの創出を目指し、リチウム空気電池の開発に取り組んでいます。この電池は負極にリチウム金属、正極に空気を用います。計算エネルギー密度は従来のリチウムイオン電池の約5倍であり、我々の生活に変革をもたらすテクノロジーになると期待されます。

◎ 革新的蓄電システムとその検討4課題 ◎



経済産業省

平成23～25年度

次世代エネルギー技術実証事業

「三重大学スマートキャンパス(MIESC)実証事業」

この実証事業は平成25年度まで行い、事業終了後もキャンパスから排出される二酸化炭素を削減する計画です。国からの支援を受けてキャンパス全体で実施する全国大学初のこの取組は、二酸化炭素を排出しない再生可能エネルギー(風力、太陽光)や、ガスコージェネレーションなどによる新エネルギーを中心に運営し、省エネ照明設備やクールビズ対応空調なども導入して排出量の削減を図ります。津市と連携し、学生等への環境教育や自治体への環境情報を提供します。本実証事業での成果を活用して他のコミュニティで活用できるモデルを作成し、今回の事業が地域のみならず他の大学や多くの自治体に幅広く普及するよう情報発信していく予定です。

◎ キャンパスコミュニティマネジメント概要図(計画) ◎



ハイスループットタンパク質生産システムの開発

独立行政法人 科学技術振興機構 平成21～23年度

研究成果展開事業「先端計測分析技術・機器開発プログラム」



ゼブラフィッシュ(Danio rerio) 原産:インド 体長:5cm程度 小型熱帯魚でヒトとの間で高い相同性を示す遺伝子を持っている。



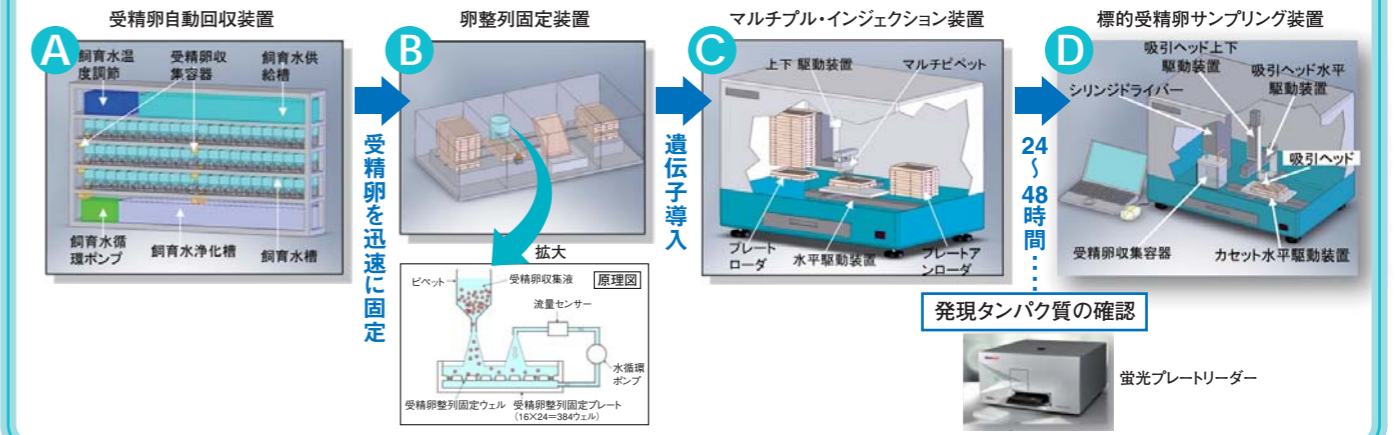
自動受精卵配列ユニットと自動マイクロインジェクションユニットを並べた試作機

本プロジェクトでは、橋本電子工業株式会社(三重県松阪市)と共同でゼブラフィッシュを用いたハイスループットタンパク質生産システムの開発を行っています。すなわち、大量の受精卵を決まった時間に自動回収するために、小型水槽(60個)からなる受精卵自動回収装置を開発し、さらに回収された受精卵は遺伝子導入のスループットを上げるために、308個の受精卵を一度に整列させる卵整列固定装置も開発しました。最後に、1時間当たり3,000個以上の受精卵に全自動で遺伝子導入できるマルチプル・インジェクション装置も完成しました。



三重大学 大学院 生物資源学研究所 准教授 田丸 浩 Tamaru, Yutaka

ハイスループットタンパク質生産システムの概略図





10月

◎13日 梅酒の梅の実ジャム試食会



梅酒三重大学を造る際に漬けた梅の実を使って附属農場で作られました。

とってもエコな取り組みだね!

◎14日 附属小学校の児童達と交流



教室で内田学長と楽しく給食を食べる児童達

◎19日 日本初!! ワックスドハートを使った授業

胸部心臓血管外科の新保秀人教授が作製したワックスドハート(豚の心臓)を用いたわかりやすい授業に学生たちも大満足でした。



◎20日 防犯ボランティアで三重大生が活躍!! 附属小学校の児童と一緒に下校し、安全を図りました。



◎21日~25日 教育学部音楽教育コースの学生と一身田中・橋北中のコラボ音楽祭



中学生も大学生も「音楽によるコミュニケーション」について深く考える良い機会となりました。

◎31日 医学部附属病院でハロウィンのイベント



「Trick or treat(お菓子をくれないといたずらするよ!）」と言いながら、仮装した子どもたちはお菓子を受け取っていました。

◎1日 津市北立誠小学校とオーストラリア Coogee Public Schoolの遠隔会議

この取り組みは、教育学部の地域連携の一環として行われた取り組みで、TV会議システムを使って、互いの勉強や取り組みを発表しました。



◎5日~6日 第63回三重大学祭 ~つながり-STAND BY MIE~



個性あふれる模擬店、学術展示・研究発表のほか、メインステージも大いに盛り上がりました!!

◎7日 日本初 「三重大学スマートキャンパス実証事業」採択・実施

全国の大学に先駆けて、再生可能エネルギーを活用した標記事業に取り組みます。



記者会見の様子

◎10日 教育学部附属中学校の文化祭



「蒼穹に響け~青春に贈る交響曲~」をテーマに力強く合唱しました。

◎11日 留学生へのリユース自転車譲渡会

環境ISO学生委員会による3R活動の取り組みで、放置された自転車を回収・修理し、天津師範大学から来日している学生22名に譲渡されました。



◎12日 第1回三重大学胸部心臓血管外科 市民公開講座「足の痛みと血管病」

特別講義や検査体験、当科医師による医療相談会などを行い、県内外より参加した50名以上は下肢血管病について知識を深めました。



◎7日~17日 絵物語でよみがえる「藤堂高虎の生涯」展



津観音の境内に設置された竹タワー8本をめぐり高虎の生涯をたどりました。

◎15日 特別講義「いけばなの美に学ぶ」開催

いけばな小原流の金森厚至氏を講師に招き、講義、講演、学生に対する実地指導を行い、参加した56名にとって有意義な時間となりました。



◎17日 実験動物感謝式を挙げる

動物実験に携わる全学の教職員・学生らが「実験動物慰霊碑」に献花を行い、感謝の念と敬意を表しました。



◎19日~20日 「青少年のための科学の祭典2011」第9回三重大学大会開催

32の実験や工作などのブースを出展し、2日間で3,100名の子もたちと保護者が科学の楽しさを体験しました。



◎25日 設計製図授業で伊勢市のまちづくりに協力

工学部建築学科3年生が、伊勢市都市整備部都市計画課の協力のもとで同市の二見町地区のまちづくり提案に取り組み、成果は伊勢市長にも報告されました。



◎28日 生協食堂「ばせお」で尾鷲の真鯛料理試食会

相互友好協力協定を結んでいる尾鷲市との連携により実現しました。上品な味わいと食感は絶品でした。



◎3日~5日 レーモンドホール特別公開

標記公開とともに「三重の建築散歩」展が開催され、三重の様々な建築が紹介されました。4日には、講演会も行われ150名が参加しました。



◎7日 三重大学総合防災訓練を実施

東海・東南海・南海地震の同時発生を想定し、参加した学生・教職員約400名は大学から避難場所まで歩くなど、訓練に励みました。



◎8日 みえの現場・すごいやんかトーク大学編 in 三重大学

鈴木英敬三重県知事を囲んで、19名の学生たちがまちづくりをテーマに意見交換を行いました。



◎9日 就職ガイダンス「理系・文系合同企業研究会」開催

「人事担当者が語る企業選びのポイント」と題し講演が行われ、参加した200名以上の学生は熱心に受講していました。



◎9日 日本テレビ「第87回欽ちゃん&香取慎吾の全日本仮装大賞」で平石裕香さんがメダル獲得!

「私の朝ごはん」をテーマに、顔をフライパンに見立て、目玉焼きやベーコンが焼ける過程を仮装で見事に表現しました!



三重のピカ1 新シリーズ
三重県に本社のある企業のピカ1商品を紹介します。

九鬼産業株式会社
KUKI

ピカ1 連続圧搾法

えっ、こんなに種類があるの!?

今回訪れた九鬼産業は創業以来120年余、ごま一筋に歩んできました。ごま油、すりごま、いりごま、ねりごま…。ごまのことなら何でもチャレンジしています。九鬼産業が作っているごま油には焙煎温度によっていくつか種類がありました。焙煎温度が低いほど色は淡くあっさりとした味と香りのごま油が出来上がり、逆に焙煎温度が高いほど色は濃く、ごまの風味と香りが強いごま油になるそうです。ふだんにしているごま油はたいてい琥珀色をしているので、たくさんの種類のごま油があることに驚きました。



ごま油製品だけで10種類もあるんだよ



真心でお客様を幸せに

あらゆる方面でお客様の満足感を得ようと努力している九鬼産業。工場内は九鬼産業のキャラクター「ごまんぼう」による分かりやすい解説や写真でいっぱいでした。従業員のみなさんの元気な挨拶や、自ら仕事をよりよくしていこうと心掛ける姿勢もとても印象的でした。

これからも安全安心な商品を作り続けていくことを目標に、頑張ってください。



ごま製品にたっぷりの愛情を注いでいる九鬼産業さんを見て、私もごまに興味が出てきました。

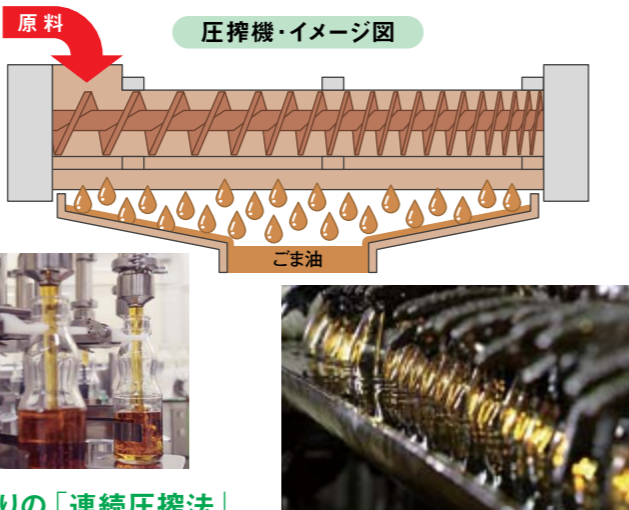


伊藤 雅晃(三重大学人文学部 文科学科 3年) / 中谷 真由美(三重大学人文学部 文科学科 3年)

SPOT..... ~創業明治19年。ごま油、いりごま、ねりごまをお届けする「ごまの総合メーカー」です。~

- 所在地/〒510-0048 三重県四日市市尾上町11
- 代表者/代表取締役会長 九鬼祥夫 代表取締役社長 渡辺伸祐
- 事業内容/純正ごま油、ねりごま、すりごまなど、ごま製品の加工・製造・販売
- 企業理念/安全・安心で美味しい胡麻製品を提供することで、人々の生活に貢献します。

[URL] <http://www.kuki-info.co.jp/>



こだわりの「連続圧搾法」

九鬼産業がこだわっている製造法が「連続圧搾法」と呼ばれるものです。搾油原料に圧力をかけて押しつぶし、油を搾り出す方法で、横スクリュウ型の圧搾機を用いて連続的に行います。九鬼産業はこの方法を国内で初めて導入しました。薬品を使用した油の抽出法は行わず、伝統的な圧搾製法で搾ることで、ごまの持ち味を最大限に生かしたごま油が出来上がるのです。まさに九鬼産業の「安全安心な商品を作り続けたい」という想いが詰まったごま油です。

少林寺拳法部

活動は 毎週月曜日・火曜日・木曜日・金曜日 17:00~19:00
活動場所/ 共通教育棟裏の道場

こんにちは!少林寺拳法部です。少林寺拳法は、技の一つひとつが体格や力の差に頼らなくても使えるように構成されていて、老若男女問わず楽しむことができるのが特徴です。現在、部員は男女計19人で、ほとんどの部員が大学に入ってから始めており、黒帯を取得しています。普段の練習は、週に4回前半と後半に分けて行います。前半は初心者や経験者、学年や男女問わず楽しみながら技を練習します。後半では学年別に分かれて新しい技を学んでいきます。練習の他にも、イベントがたくさんあり、春と夏には総本山である香川県に行って、一週間の合宿を行います。実際に技を体験してみたいという方は、直接道場に見学に来てください!



代表 酒井 啓輔
(人文学部法律経済学科 3年)
[URL] <http://www.geocities.jp/miedaisyourinj/>

アカペラサークル Pioneer

活動は 毎週月曜日 18:00~20:00
活動場所/ 共通教育棟3号館2階



こんにちは、アカペラサークルPioneerです。アカペラとは、リード、コーラス、ベース、ボイスパーカッションなど、楽器を使わず口だけで音楽を作って披露する、どこにいても音楽が楽しめるものです。「ハモネプにでたい!歌がうまくなりた!人前で歌ってみたい!友達に欲しい!」そんな学生が集まり現在、男子20名女子40名のアカペラ戦士がいます。アカペラのLIVEは他大学のアカペラサークルと連携するなど、東海地区を中心に各地へ足を運んでいます。他にも、様々なレクリエーションも企画し、いつも楽しく過ごしています!そんな私たちと一緒にアカペラを楽しんでみませんか?興味があれば是非とも練習場所に足を運んでください!



代表 尾中 俊輝
(工学部分子素材工学科 3年)
[URL] <http://pioneer-mie-u.com>

本の紹介



『日本の東アジア観』

日本は東アジアをどう見ているのでしょうか。これまで、日本で出版されてきた中国およびロシア関連書籍を見渡し、そこから日本の東アジア観を明らかにしようとする試みです。

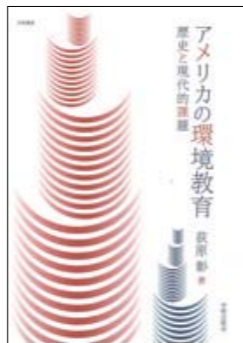
単著／藤田昌志
(国際交流センター・准教授)
定価／2,100円(税別)
発行／朋友書店
ISBN／978-4-89281-127-2



『Précis de politique japonaise (日本政治概論)』

日本政治の基盤としての日本国憲法、国および地方レベルでの政治の仕組み、権力構造の諸形、主な政党とそのイデオロギー、選挙とその他の国民による政治参加の実態をフランス語で簡潔に紹介します。

単著／Thierry GUTHMANN
(人文学部・准教授)
定価／13€
発行／L'Harmattan
ISBN／978-2-296-56482-4



『アメリカの環境教育 歴史と現代的課題』

本書はアメリカの環境教育の歴史的展開をその源流から現在までたどり、さらに現代的課題である、教育改革と環境正義への対応について述べた。アメリカの環境教育を包括的に把握しようとした日本で初めての試みである。

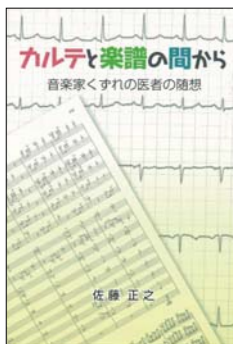
単著／荻原 彰(教育学部・教授)
定価／2,800円(税別)
発行／学術出版会
ISBN／978-4-284-10331-2



『涼山彝語の言語と文字』

本書は中国四川省涼山彝族自治州に分布する涼山彝族に伝わる文字文化と伝統社会を紹介し、それらがどのような変遷を遂げて今日に至っているのかを紹介し、また、巻末には『涼山彝語会話六百句』の日本語訳を付しました。日本で初めての涼山彝語と文字の入門書です。

単著／福田和展(人文学部・准教授)
定価／2,000円(税別)
発行／三重大学出版会
ISBN／978-4-903866-10-9



『カルテと楽譜の間から』

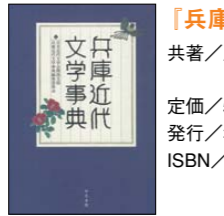
筆者は音楽大学を卒業してから医者になりました。ともすれば日々の忙しさに埋没してそのまま忘れ去られてしまう出来事を書き留めたのが本書です。螺旋階段のように同じところをぐるぐる回りながら、それでも少しずつ上へと登っていく。そんな医学と音楽が奏でるハーモニー(不協和音?)をあなたも感じてみませんか?

単著／佐藤正之(医学系研究科・准教授)
定価／1,200円(税別)
発行／株式会社新風書房
ISBN／978-4-88269-744-2



『海熊野』

編著／川口祐二
(附属図書館研究開発室 客員教授)
定価／3,500円(税別)
発行／株式会社森話社
ISBN／978-4-86405-025-8



『かけがえのない個から 講座「ジェンダー・社会科学の可能性」第1巻』

共著／岩本美砂子
(人文学部・教授)
定価／3,600円(税別)
発行／岩波書店
ISBN／978-4-00-028471-4



『高等教育とESD 持続可能な社会のための高等教育』

編著／荻原 彰
(教育学部・教授)
定価／1,800円(税別)
発行／大学教育出版
ISBN／978-4-86429-067-8

『坂部恵』

共著／田中綾乃
(人文学部・准教授)
定価／2,800円(税別)
発行／水声社
ISBN／978-4-89176-846-1

『都市の音環境 -診断・予知・保全-』

編著／久野和宏(名誉教授)
野呂雄一(工学研究科・准教授)
定価／2,900円(税別)
発行／技報堂出版
ISBN／978-4-7655-3451-2

感謝状

『第10回韓国川の日蔚山大会』

理事(環境・国際担当)副学長
朴 恵淑

2011年8月18日

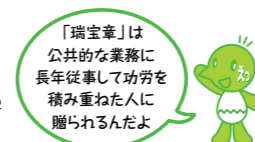
韓国蔚山(ウルサン)大学で行われた標記大会において、大会を発足・発展させた功績を称え、感謝状が贈られました。



平成23年 秋の叙勲受章者

瑞宝中綬章(教育研究功勞)

三重大学名誉教授・元人文学部長
伊藤達雄(いとう たつお)
長年にわたり、地理学の分野において三重大学人文学部の発展に多大な貢献をされました。



平成23年度 医学教育等関係業務功労者表彰

医学部附属病院 輸血部 主任 葛西千枝子

2011年11月24日

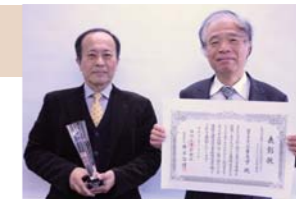
国公立大学における医学・歯学に関する教育、研究、患者診療などに係る補助的業務に関し、顕著な功勞のあった職員に文部科学省から贈られます。

第6回モノづくり連携大賞
月刊工業新聞社賞

三重大学
次世代型電池開発センター

2011年11月10日

産学官連携による次世代全個体ポリマーリチウム二次電池の開発で標記賞を受賞しました。この電池は全個体ポリマーを使った軽くて薄く曲がる電池で、新型の太陽電池や電子ペーパー表示の電源として期待されます。



伊藤敬人教授(左)
武田保雄理事・副学長(右)

一般社団法人日本臨床検査同学院
緒方富雄賞

医学部附属病院中央検査部 技師長
西岡 淳二

2011年11月26日

緒方富雄賞とは、臨床検査領域の技術を通じて医療の発展に著しく貢献した者若干名に対し授与する名誉ある賞です。



教員表彰

受賞者	受賞名(受賞日)
工学研究科 教授 小林 正 他2名	情報ストレージ研究推進機構(SRC) 論文賞2010 (2011.5.31)
医学系研究科 助教 榎原紀彦	第9回整形外科痛みを語る会 奨励賞 (2011.6.26)
生物資源学研究科 教授 陳山 鵬 他3名	日本設備管理学会 論文賞 (2011.6.30)
生物資源学研究科 教授 稲垣 稔	マテリアルライフ学会誌論文賞 (2011.7.7)
医学部附属病院 講師 鈴木秀謙	The 11th International Conference on Neurovascular Events after Subarachnoid Hemorrhage, The Next Big Idea, 1st Place Award (2011.7.23)
生物資源学研究科 教授 高松 進	米国菌学会名誉会員 (2011.8.2)
工学研究科 准教授 浅野 聡	日本都市計画学会・自治体優秀まちづくりグッズ賞 (2011.8.10)
医学系研究科 教授 近藤峰生	Pfizer Ophthalmics Award Japan (2011.9.1)
医学部附属病院 講師 水野修吾	Joint Meeting of the 4th Asian-Oceanic Pancreas Association and 2011 Annual Congress of the Korean Pancreatobiliary Association学会賞 (2011.9.3)

受賞者	受賞名(受賞日)
生物資源学研究科 准教授 田丸 浩 他6名	第63回日本生物工学会大会(2011)トピックス賞 (2011.9.27)
生物資源学研究科 准教授 渡辺晋生	平成23年度科研費の審査委員表彰 (2011.10.1)
工学研究科 教授 矢野賢一	日本リハビリテーション工学協会 福祉機器コンテスト2011 「機器開発部門」優秀賞 (2011.10.7)
医学系研究科 教授 小川 朋子	Doctor of the year 2011 (2011.10.16)
生物資源学研究科 准教授 渡辺晋生	土壌物理学学会賞(論文賞) (2011.10.28)
人文学部 准教授 森 正人	人文地理学会学会賞(一般図書部門) (2011.11.12)
医学系研究科 助教 江藤みちる 他5名	ニューロサイエンスライター誌プレナリー論文賞 (2011.11.14)
医学系研究科 助教 澤田博文	2011 American Heart Association Cournand & Comroe Young Investigator Prize (2011.11.15)
生物資源学研究科 准教授 田丸 浩	第9回農芸化学研究企画賞 (2011.12.6)

国際交流センターから

■天津師範大学ダブルディグリー学生の学位授与式 (2011.9.28)

双方の大学の学位を修得できるダブルディグリープログラムの第1期修了生15名ひとりひとりに学位記が手渡されました。

このプログラムを通じて国際感覚、広い視野と専門知識を備えたグローバルな人材を育成します。



■日独交流150周年記念の菩提樹植樹式 (2011.11.14)

大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館のアレクサンダー・オルブリッヒ総領事をお招きし、三翠ホール東側広場において植樹式が行われました。

菩提樹は、ドイツでは非常に馴染みの深い樹であり、ドイツとの学術交流を積極的に行っている三重大学に贈られました。



■第1回留学生カフェ (2011.11.18)

この取り組みは、学生総合支援センターが留学生と日本人の交流を目的として毎月1度のペースで開始されたもので、留学生により、日本での留学生活や出身国の紹介が行われ、40余名の日本人学生、留学生、教職員が積極的に相互交流を行いました。



■国際交流週間2011 (2011.12.10~2011.12.21)

14のイベントやシンポジウムが開催され、学生、教職員および一般から総勢約1,200名が参加しました。

■三重大学ユネスコスクール研修会／シンポジウム2011 (2011.12.10)

持続発展教育(ESD)のさらなる発展のために今後何をすべきか、大学の支援はどうあるべきかについて考える有意義な研修会およびシンポジウムとなりました。



■三重大学グローバル人財育成シンポジウム (2011.12.17)

グローバル人財に関する基調講演の他、内田学長をはじめ6名によるパネルディスカッションも行われ、参加した150名の学生、一般、教職員は本学が目指す人財育成について、改めて考え、認識する素晴らしいシンポジウムとなりました。

地域連携プラザ・つみきプラザ開設

■三重大学地域連携プラザ 開設 (2011.9.9)

津センターバレス1階に「三重大学地域連携プラザ」を開設しました。

三重大学の紹介、三重大学の産学官連携の取組の紹介、三重県と津市の地域活性化のための活動紹介などを積極的に行っています。



ゆったりとしたスペースになっています

■つみきプラザ 開設 (2011.9.9)

辻製油(つじせいゆ)株式会社と三重大学(みえだいがく)とで地域活性化を目指した共同研究(きょうどうけんぎゅう)における情報発信を行う産学官連携プロジェクト「つみきプラザ」を、津センターバレスに開設しました!



つみきプラザオープンセレモニーの様子

東海地区国立大学法人の事務連携ネットワーク調印式 (2011.9.27)

この東海地区国立大学法人の事務連携は、各大学の個性・特色を活かして優れた教育研究・社会貢献活動を一層積極的に展開していくため、その基盤を支えている事務部門の連携を目的としています。

今後は、各大学が事務連携に向けて検討を進め、逐次、協議が整ったものから組織的・計画的に実施に移す予定となっています。



東海圏4大学連携市民フォーラム (2011.11.5)

東海圏4大学(三重・名古屋・岐阜・静岡)のトップが、それぞれの大学の特色を活かし地域と連携しながら国際的にも活躍できる学生を育成する方法を紹介し、その後の討論会では国際化時代を勝ち抜く人材育成について熱く討議しました。

今後の更なる連携が期待されます。



三重大学先端研究シンポジウム

■第6回三重大学先端研究シンポジウム「高齢化社会を楽しむ する先端研究」(2011.12.15)

三重大学の医療と音楽教育の研究分野から「高齢化社会を楽しむ」をテーマに、都市センターホテル(東京都千代田区)において本学の教員から最新の研究活動と社会貢献活動の紹介がありました。



工学部から

■第1回工学研究科国際シンポジウム(2011.12.1~2011.12.2)

三重大学工学研究科において「持続可能社会を実現するための工学の役割」をテーマとした第1回国際シンポジウムが開催されました。シンポジウムでは、大学院生による英語研究論文235件が発表され、海外協定大学の教員との間で活発な討論が行われました。グローバル化が進展する中で、世界に通用する高度専門産業人材の育成を目指す工学研究科にとって、2日間の国際シンポジウムは大変重要で有意義なものとなりました。



教員免許状更新講習連絡協議会シンポジウム

■教員免許状更新講習連絡協議会シンポジウム(2011.12.10)

これからの学校教育と教師のあり方について一教員免許状更新講習を手がかりとして一

このシンポジウムは、県内で初めての開催で、来場した約100名の教育関係者からは、教員免許制度をめぐる議論やその展望、現職教員の資質・能力の向上が強く求められていること、それを受け、更新講習に今後一層求められるものを再確認することができました。



公開講座・シンポジウムなど

■「発見塾」三重大学シリーズ 2011

●問い合わせ先◎ 三重大学附属図書館 / ☎059-231-9032

■元気で長生きするために今できることは何か?一骨粗鬆症の予防と治療一

●講師◎ 須藤啓広(大学院医学系研究科・教授)

●日時◎ 平成24年1月28日(土) 13:30~15:00 ●会場◎ 津リージョンプラザ2階 健康教室

■伊勢参宮の立役者御師の屋敷を復元する

●講師◎ 菅原洋一(大学院工学研究科・教授)

●日時◎ 平成24年3月17日(土) 13:30~15:00 ●会場◎ 津リージョンプラザ2階 健康教室

■第3回 親&子どものサポートを考える会 講演会 子どもの成長を支えるために ~さまざまなサインのとらえかた~

●日時◎ 平成24年2月12日(日) 開場13:00 講座&質疑13:30~16:00

●会場◎ 三重大学医学部 臨床第3講義室 ●入場料◎ 無料 ●対象者◎ 市民一般

●申込◎ 当日参加も可能ですが、資料作成など準備の都合上、参加を予定されている方は、以下の内容をご連絡下さい。(平成24年1月27日(金)まで) 連絡いただく内容:お名前(代表者のフルネーム)、参加人数、当日の参加方法(交通手段)

●連絡先・問い合わせ先◎ 三重大学医学部看護科 土田幸子(助教) / ☎059-231-5260 E-mail: sachiko@nurse.medic.mie-u.ac.jp

■三重大学アカデミックフェア

●日時◎ 平成24年2月14日(火) 13:00~17:00 ●会場◎ 三重大学共通教育棟3号館

●入場料◎ 無料(申込み不要) ●対象者◎ 市民一般

●問い合わせ先◎ 三重大学学生サービスチーム 中島・萩野 / ☎059-231-9854

E-mail: seikatsu-shien@ab.mie-u.ac.jp

■三重大学医学部附属病院がんセンター 市民公開講座

■知ってほしいがんに対する放射線治療

●講師◎ 不破信和(南東北がん陽子線治療センター長)

山門亨一郎(三重大学医学部附属病院IVR科長) 他

●日時◎ 平成24年2月25日(土) 13:00~16:00 ●会場◎ 三重県総合文化センター中ホール

●受講料・定員◎ 無料・950名 ●対象者◎ 市民一般

※詳細については、本年12月に確定し、ポスター等にてご案内します。

催し物

■三重大学管弦楽団 第48回定期演奏会

●日時◎ 平成24年1月22日(日) 開場13:00 開演13:30

●会場◎ 三重県総合文化センター 三重県文化会館 大ホール

●入場料◎ 当日 700円 / 前売 600円(小学生未満は無料 親子室も利用可)

●申込◎ 不要 ●対象者◎ 市民一般

●問い合わせ先◎ 古溝 / ☎070-6583-0707 URL http://miedaiorc.warabimochi.net/

■三重大学美術教育コース卒業・修了展覧会

三重大学教育学部美術教育コースの学生(60期)、大学院生による卒業制作展覧会です。

●日時◎ 平成24年2月8日(水)~2月12日(日)

9:30~17:00(初日は12:00から 最終日は15:00まで)

●会場◎ 三重県立美術館 県民ギャラリー ●入場料◎ 無料

●問い合わせ先◎ 卒業制作展覧会 代表・東城 / ☎080-1037-1516

広報担当・鶴飼 / ☎090-8864-5892

■第23回壬申の乱ウォーク

『聖武天皇東国行幸の到達点・恭仁京を訪ねて』

●日時◎ 平成24年2月11日(土) ●参加費◎ およそ4,000円 ●受講対象者◎ 市民一般

●申込・問い合わせ先◎ 三重大学考古学研究室 / ☎059-231-9148

■三重大学吹奏楽団 第56回定期演奏会

●日時◎ 平成24年3月11日(日) 開場13:30 開演14:00

●会場◎ 三重県総合文化センター 三重県文化会館 大ホール

●入場料◎ 一般 当日 1,000円 / 前売 900円

学生 当日 600円 / 前売 500円(未就学児 入場無料)

●申込◎ 不要 ●対象者◎ 市民一般

●問い合わせ先◎ 正崎 / ☎080-3687-5187 E-mail: musb@mail.goo.ne.jp

■三重大学農場直売会

●販売日時◎ 毎月第3水曜日開催予定

●会場◎ 三重大学農場(津市高野尾町2072-2)

●販売品◎ 味噌、マーマレード、イチゴジャム、野菜、果物、花苗、お茶など

●問い合わせ先◎ 三重大学附属教育研究施設チーム / ☎059-230-0044(代表)

学生表彰

※()内は指導教員
学年は受賞当時

日本設備管理学会 論文賞 (2011.6.30)

生物資源学研究所(博)2年 李 可
生物資源学研究所(博)1年 薛 紅涛
(陳山 鵬 教授)



XXIII Congress of the the International Society on Thrombosis and Haemostasis and 57th Annual SSC Meeting The Young Investigators Award (第23回 国際血栓止血学会) (2011.7.28)

医学系研究科 消化器内科
大学院生3年 ギル・ベルナベ・パロマ
(竹井 謙之 教授) (ガバザ・エステバン 教授)



第42回 東海若手セラミスト懇話会2011年夏期セミナー ベスト質問賞 (2011.7.1)

工学研究科
分子素材工学専攻(修)1年 高橋圭太
(平野 敦 助教)



第30回分析化学中部夏期セミナー ポスター講演 優秀賞 (2011.9.1)

「分析中部・ゆめ21」若手交流会
第11回高山フォーラム 優秀発表賞 (2011.11.12)
工学研究科
分子素材工学専攻(修)2年 大濱悠太
(太田 清久 特任教授) (金子 聡 准教授) (勝又 英之 助教)



電気学会産業応用部門 部門論文賞 (2011.9.7)

工学研究科(修)2年 灰屋和勇
(平井 淳之 教授) (駒田 諭 准教授)
※学年は論文投稿当時



第18回3大学国際ジョイントセミナー&シンポジウム2011 最優秀学生論文賞 (2011.10.30)

生物資源学研究所(修)1年 小林佑理加
(江原 宏 教授)
生物資源学研究所(博)1年 呉 婷婷
(王 秀崙 教授)



XXIII Congress of the the International Society on Thrombosis and Haemostasis and 57th Annual SSC Meeting The JSTH Asian-Pacific Scholarship Award (第23回 国際血栓止血学会) (2011.7.28)

医学系研究科 免疫学
大学院生3年 三宅泰士
医学系研究科 免疫学
大学院生3年 ボベダ・ルイズ・ダニエル
医学系研究科 免疫学
大学院生1年 松島裕樹
(ガバザ・エステバン 教授)



クラブ・サークル表彰

第24回四日市カッターレース大会 男子一般の部

カッター部チーム名
「平成丸」
優賞 (2011.8.7)



第45回全日本医科学生 弓道大会 男子団体

医学部
弓道部
優賞 (2011.8.28)



三重大学の学生が
様々な賞に輝いたよ



附属学校園から

附属幼稚園

■ 幼稚園の園庭で遊びませんか?

園庭を開放しています。
◎日時◎ 月曜日15:00~16:00 木曜日13:00~16:00
◎その他◎ 事務室受付で名前を記入してから遊んでください。
トイレは管理棟・昇降口の所をご利用下さい。
ゴミはお持ち帰り下さい。使った玩具は必ず片付けてください。

附属小学校

■ 平成23年度公開研究会のご案内

◎研究主題◎ 子ども一人ひとりが(わかる)授業(第2年次)
◎内容◎ 各教科の公開授業と協議会 ◎日時◎ 平成24年2月4日(土)
◎会場◎ 三重大学教育学部附属小学校 ◎参加費◎ 2,000円(学生1,500円)
◎問い合わせ先◎ 教育学部附属小学校 / ☎059-227-1295
URL <http://www.fuzoku.edu.mie-u.ac.jp/sho>
※詳細につきましては、本校ホームページをご覧ください。

附属特別支援学校

■ 第28回公開研究会のご案内

◎研究テーマ◎ 「人とかがわる力」を育む授業づくり
◎内容◎ 公開授業、全体会、分科会、講演会
◎講演会講師◎ 坂井 聡(香川大学教育学部准教授)
◎日時◎ 平成24年2月18日(土)9:00~16:00
◎会場◎ 三重大学教育学部附属特別支援学校
◎参加費◎ 2,000円(学生1,000円)
◎問い合わせ先◎ 附属特別支援学校 / ☎059-226-5193
E-mail: tokushi@fuzoku.edu.mie-u.ac.jp
※詳細につきましては、本校ホームページを参照ください

お知らせ

平成23年度 学位記授与式

◎日時◎ 平成24年3月26日(月)
◎会場◎ 三重大学講堂(三翠ホール)



平成24年度 入学式

◎日時◎ 平成24年4月9日(月)
◎会場◎ 三重大学講堂(三翠ホール)

入試チームから

平成24年度三重大学個別学力検査

■ 人文学部・教育学部・医学部・工学部・生物資源学部

◎出願期間(郵送に限ります)◎ 平成24年1月23日(月)~2月1日(水) (必着)
◎個別学力検査等の日程◎ 【前期日程】平成24年2月25日(土)
(医学部は2月25日(土)、26日(日)の2日間)
【後期日程】平成24年3月12日(月)
◎合格者発表◎ 【前期日程】平成24年3月 8日(木)午前10時頃
【後期日程】平成24年3月23日(金)午前10時頃

「三重大学学生募集要項(一般入試)」の請求方法など入学試験に関することは、
本学ホームページ「入試情報」をご覧ください。

〈PCサイト〉<http://www.mie-u.ac.jp/exam/>
〈☎059-231-9063(学務部入試チーム)〉
〈携帯電話サイト〉<http://daigaku.jp/mie-u/>



QRコード ↑

※対応する携帯電話で読み取ることができます。

2012オープンキャンパス

■ 8月8日(水) 人文学部・医学部・生物資源学部 ■ 8月9日(木) 教育学部・工学部

◎内容◎ 各学部学科紹介、入試説明、体験授業、研究室見学など
◎問い合わせ先◎ 〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
三重大学学務部入試チーム / ☎059-231-9063

オープンキャンパスに関する詳細は、本学ホームページ「入試情報」
にて決まり次お知らせします。

〈PCサイト〉<http://www.mie-u.ac.jp/exam/>
〈携帯電話サイト〉<http://daigaku.jp/mie-u/>



第63回西日本医科学生 総合体育大会 空手 男子団体戦

医学部
空手道部
優賞 (2011.8.7)



津まつり 安濃津よさこい

極津
大賞 (2011.10.9)



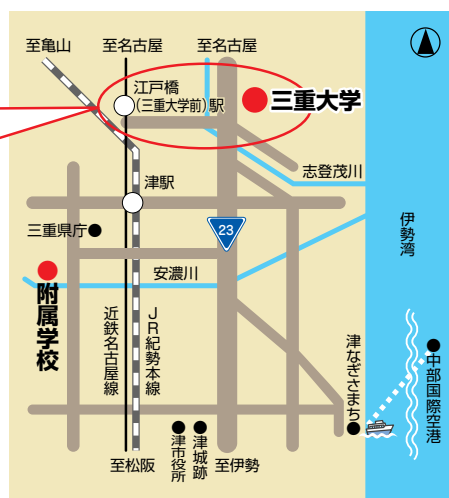
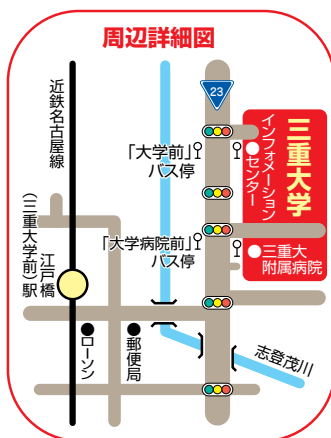
三重大学 環境・情報科学館

3つの柱(学生支援・教職員支援・地域交流)を軸に、
全学が共通で利用できる建物として、
大学教育及び環境学習空間の充実を図ることを目指します

三重大学長 内田淳正



2012年3月オープン予定



交通のご案内

- 近鉄江戸橋(三重大学前)駅から徒歩約15分
- 津駅からタクシーで約10分
- 津駅前バスのりば「4番」から三交バスで「白塚駅前」(06系統)、「太陽の街」(40系統)、「三重病院」(51系統)、「棕本(おくもと)」(52系統)、「豊里ネオポリス」(52系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「三行(みゆき)」(53系統)、「高田高校前」(56系統)行きで、「大学前」下車。
- 中部国際空港(セントレア)から津エアポートラインで津なぎさまちへ40分
 1. 「津なぎさまち」から三交バスで「津駅前」まで約15分
 2. 津なぎさまちからタクシーで三重大学まで約15分

 **三重大学**

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
TEL 059-232-1211(代)
<http://www.mie-u.ac.jp/>





▼御塩殿



◀二見の旅館街



◀松林の海岸

伊勢参宮の旅人は二見に足を伸ばし、伊勢の海の風物を楽しむことが少なくありません。裸ぎを行う夫婦岩(立石)の浜、神宮の塩をつくる御塩殿、歌枕として知られる景勝は、旅人を惹きつける魅力をたたえていました。とはいえ、二見は江戸末期には二〇戸ほどの、小さな茶屋の集落に過ぎませんでした。ここが近代観光地として急成長を遂げるきっかけは、明治十五年に内務省衛生局長長与専斎の勧めにより、全国的にもいち早く海水浴場が開設されたことにあります。更に明治二十年には神苑会によつて、参宮の賓客の迎賓館となる賓日館が開設され、皇族の利用も度重なり、二見の観光地としての格は高まっています。

更に明治三十六年の外宮・二見間の電車敷設、明治四十四年の山田・二見・鳥羽間の参宮線開通などの交通の便の整備は、鉄道を利用した、近代的な参宮の旅に大きく門戸を開くものとなりました。景色の良い海岸の松林には旅館や土産物屋が軒を連ねる新しい旅館街が形成され、二見の顔は街道から、旅館街に移っていききました。町並は参宮や保養の家族連れを初め、修学旅行や、海水浴で賑わいます。夫婦岩の間から昇る日の出を待ち、家族での海水浴を楽しみ、松林を散策し、土産物店を冷やかす旅の時間、潮風やささえの壺焼のにおいは、訪れた人の記憶の底に留められ、二見は懐かしく思い出される町となつていきます。

三重大大学院工学研究科教授
菅原 洋一



賓日館(重要文化財)

■開館時間：9:00～16:30(最終入場)
■休館日：火曜日(祝日の場合翌日休)
■入館料：大人/300円、小人(小・中・高)/150円
■TEL/FAX：0596-43-2003



三重大 X[えっくす] vol.27

平成24年1月15日発行
●発行/三重大広報委員会
●編集/三重大広報室
●印刷/有限会社アートピア artopia@zvtv.ne.jp

◎禁無断転載 本誌掲載の文章・記事・写真等の無断転載はお断りします。

三重大 企画総務部総務チーム 広報室
〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL 059-231-9789 / FAX 059-231-9000
ホームページ <http://www.mie-u.ac.jp/>
E-mail koho@ab.mie-u.ac.jp *ご意見をお寄せください。

お願い
三重大学振興基金へのご協力をお願いします

三重大学の目的・使命を達成する一助となることを目的に「国立大学法人三重大学振興基金」を設立しました。次の事業を計画しておりますので、皆様の温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

- ◎学生への奨学金及び災害時の学資援助事業
- ◎学生の修学環境整備事業
- ◎学生・教職員の海外留学その他国際交流活動等への支援事業
- ◎地域貢献支援事業
- ◎その他本学の目的達成に必要な事業

●募金の方法●三重大学振興基金事務局までご連絡いただくか、寄附申込書を本学ホームページよりダウンロードしていただき、ご記入の上ご郵送ください。(FAX・E-mailでもOKです)。

三重大学振興基金事務局
【企画総務部総務チーム内】
〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL: 059-231-9005 FAX: 059-231-9000
E-mail: kikin@ab.mie-u.ac.jp
URL: <http://www.mie-u.ac.jp/fund/>

メールマガジンのご案内

三重大学では、地域の皆様への情報発信の一環として、メールマガジンを配信しています(発行:毎月末)。各種イベント、教育・研究活動上のトピックスなど、“三重大”に関する情報を広く学外へ紹介しています。多くの方々のご意見・ご提言もいただきながら、地域とともに発展していきたいと考えています。

皆様のご登録を心からお待ちしております。

配信お申込み方法

次の事項をご記入の上、下記メールアドレスまでメールをお送りください。

- 1.メールのタイトルは『メールマガジン希望』と記入してください。
- 2.メールの本文に、以下の事項を添えてください。
①「一般」もしくは、「三重大生(保護者)」 ②お住いの都道府県
koho@ab.mie-u.ac.jp
できる限りパソコンのメールアドレスをご登録ください。携帯電話の場合、受信文字数の関係上、内容を一部省略させていただくことになります。

アンケートに答えて…
三重大学オリジナル“えっくすくんわくわくシャーペン”をもらおう!!

「三重大X」をよりよくするために、ぜひアンケートにご協力をお願いします。アンケートにお答えいただいた方には、「えっくすくんわくわくシャーペン」をお送りします。どしどしお寄せください。(先着100名)
*なお、お寄せいただいた個人情報は、景品発送のみに使わせていただきます。

→「えっくすくんわくわくシャーペン」ご希望の方は、巻末の綴じ込みはがきにご感想等必要事項をご記入の上ご投函ください。



季節のNEWS—皆既月食—

12月10日(土)、今回の皆既月食では、天候にも恵まれ、始まりから終わりまでの全過程を見ることができました!次回の日本で見られる皆既月食は、3年後の2014年10月8日です。



広報室がとらえた月食の様子

FM三重で放送中!!

～学生の企画するFMラジオ番組～
「Campus CUBE」
4月から本学のキャンパスパーソナリティーが新メンバーに!
毎週金曜日20:30～20:55の間の25分間、放送中です!

パーソナリティー募集!

対象は三重大生です!
ぜひご応募ください!

★応募先★
三重大学企画総務部総務チーム 広報室
TEL 059-231-9789

皆さん、聴いてください!

よしよし!

ミッチェル カイ君

三重大えっくすはここに置いてあります!

三重大学附属病院 / 四日市フロント / みえ県民交流センター(アスト津3F) / 伊賀研究拠点 / 三重県庁 / 県内高校 / 県内市役所・役場 / 県内図書館・公民館 / 県内関連病院 / 県内保健所 / 三重県総合文化センター内 / 百五銀行 / 三重銀行 / 第三銀行 / 紀南病院 / eisu / 名古屋市立図書館 / 津市東京事務所 / 四日市市政推進部東京事務所 / 三重県東京事務所

近鉄主要駅
(津 / 江戸橋 / 桑名 / 四日市 / 白子 / 松阪 / 伊勢市 / 宇治山田 / 五十鈴川 / 鳥羽 / 伊賀神戸 / 桔梗が丘 / 名張 / 上野市 / 青山町)